

当麻 圧雪、アイスバーン 信号のない交差点 出合い頭に衝突 女性2人死亡

2015年11月22日 19時55分
今シーズン初めて本格的な雪となった道内で交通事故が相次ぎ、当麻町では軽乗用車とワゴン車が出合い頭に衝突して女性2人が死亡しました。

22日午前10時ごろ当麻町の町道交差点で4人が乗った軽乗用車とワゴン車が出合い頭に衝突しました。この事故で軽乗用車の後部座席に乗っていた、女性Aさん(79歳)とBさん(79歳)の2人が胸や頭などを強く打って死亡したほか軽乗用車を運転していた86歳の男性と助手席の70歳の女性もけがをして病院で手当てを受けています。現場は信号機のない交差点で警察によりますと事故当時、雪が断続的に降り路面は雪が踏み固まって滑りやすい状態だったということです。軽乗用車側に一時停止の標識があるということで、警察は双方の車の運転手から当時の状況を聞くなどして事故の原因を調べています。

22日の北海道は、寒気の影響で北部を中心に今シーズン初の本格的な雪となっていて、このほかにも鷹栖町の道央自動車道で車6台が絡む事故が起き、2人が軽いけがをするなど交通事故が相次いでいます。

「100日間 冬期交通事故ゼロ運動」

平成27年11月20日(金)～平成28年2月28日(日)

- 冬道、スリップによる追突・横転事故の根絶
- わき見・居眠り運転の防止へ…自己管理の徹底
- 天候・道路状況に応じた適正なスピード
- デイ・ライトで、自分の車の存在を知らせて…事故を未然に防ごう

”スピードダウン”で安全運転

バック時は 降りて確認 乗っても確認

夕方、夜間、早朝 要注意！ 歩行者が見えにくい 道路が滑りやすい

◆スリップ事故 注意！◆

峠・橋の上・日陰・トンネルの出入り口
交差点手前、滑って交差点内で衝突！注意

追突事故の多くが、低速追従時の安心感と油断からくる、車間距離不足と注意力不足

追突、玉突き事故を防ぐ 交差点手前で止まる時は車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認／よ～し！」

午後5時 信号のない交差点 日没後暗く、気付くのが遅れた 右から横断 76歳男性はねられ死亡

(2015年11月22日 11:45)

21日午後5時半ごろ、岩手県の信号のない交差点で、右から横断歩道を渡っていた76歳の男性が、乗用車にはねられ死亡しました。警察は乗用車を運転していた会社員の男性容疑者(45)を過失運転致傷の疑いで現行犯逮捕しました。事故当時は日没後で暗かった。警察は乗用車が男性に気付くのが遅れたものと見て、事故の原因を調べています。

学校の会合などで飲酒後、酒気帯び運転で事故 小学校教諭を懲戒免職 代行運転を依頼したが、途中から自分で運転していた

2015.11.21 16:30

鳥取県教委は、道交法違反(酒気帯び運転)などの疑いで逮捕された小学校の教諭(37)を、20日付で懲戒免職処分とした。県教委などによると、教諭は7月の深夜、県道で自家用車を酒気帯び状態で運転。センターラインを越えて対向の軽自動車に衝突、運転していた男性に骨折などのけがをさせた。教諭は同市内での学校の会合などで飲酒後、同町の自宅へ帰るため代行運転を依頼したが、途中から自分で運転していた。

足取られ転び 運搬車の下敷きになり死亡

2015年11月22日 11:19

21日午後3時5分ごろ、千葉県のニンジン畑で、農業用トレーラーを使いニンジンの収穫作業をしていた近くに住む農業の男性(81)が、車両の前に出て操作しようとしたところ、畝(うね)に足を取られて転び、前進する車両の下敷きになり死亡した。

一斉取り締まり 酒気帯び運転容疑で摘発 年末年始は、飲酒運転が増加、「取り締まり強化」

2015年11月22日

県警は20日夜から21日朝にかけて、県内17か所で飲酒運転の一斉取り締まりを行った。約200人の警察官が検問やパトロールなどを実施し、道交法違反(酒気帯び運転)容疑で1人を摘発。摘発はほかに、速度違反、シートベルトの不装着などで43人。県警によると、県内の飲酒運転の摘発数は10月末で153件。同課は「年末年始は特に飲酒運転が増える。根絶に向けて取り締まりを一層強化していく」としている。